



IBARAKI TOYOPET
RACING TEAM

GR86/BRZ Race
PROFESSIONAL Series

**練習中の好印象を予選、決勝に結びつけられず
第2戦のSUGOは18位で完走果たす！**



GR86/BRZ Race PROFESSIONAL Series 第2戦
2018年4月28～29日 スポーツランド SUGO (宮城県)
晴れ 13周 (30台出走)
予選21番手/決勝18位
ドライバー：平木 湧也
メカニック：新井 惇
メカニック：荒井 智博



茨城トヨペットレーシングは参戦4年目となるGR86/BRZレースに、昨年に引き続き平木湧也選手を擁してプロフェッショナルシリーズに挑む。そのシリーズ第2戦がゴールデンウィークの始まりとなる4月28日、29日にスポーツランドSUGOで開催された。

鈴鹿サーキットで行われた開幕戦で平木選手は、自身の予選最上位となる14番手から決勝に挑んだものの、スタートに失敗してしまっただけか、ベテラン相手のバトル中に痛恨のミスがあり、大きく順位を落としてしまったが、その後は諦めることなくオーバーテイクを連発。さまざまな開幕戦の得難い経験は成長の証であるとともに、きっと今後活かされるはずだ。

さて、第2戦の舞台であるスポーツランドSUGOは、アップダウンに富む高速テクニカルコースで、アクセルを踏んで回るコーナーが大半を占める。それだけにドライバーには腕のみならず、セッティング能力も問うコースと言える。練習走行では確かな手応えを得ていた平木選手ただだけに、本戦にも期待が大いにかかっていた。

土曜日の予選では、コースオープンと同時に走行を開始した平木選手は、いつものようにワンラップアタックを敢行。すぐにコースインしたドライバーがそう多くなかったことから、前後とも程よく間隔は保っていた。全開でストレートを駆け抜けていくも、1コーナーのブレーキングで攻めすぎたあまり、痛恨のオーバーシュートが。幸い、4輪すべてを落とすことなく、そのまま走行することはできたものの、その後のリズムを欠いて、トップから1秒1遅れの1分40秒245に留まってしまう。

「1コーナーで行き過ぎてしまいました。場所取りは良かったし、練習ではトップ10に入れるぐらいのポテンシャルがあったので残念ですが、決勝レースでは頑張っって追い上げます」と平木選手。決勝レースに「茨城トヨペット86レーシング」は21番手から挑むこととなった。

日曜日に行われた決勝レースで、平木選手が並んだグリッドが後方にやや下っていたことが災いする。レッドシグナル消灯に対し、クラッチミートのタイミングは良かったものの、回転が落ちてしまい、アクセルを踏み足すもホイールスピンが大きく、ここで2台の先行を許す(ただし、うち1台は違反スタート)。それでもヘアピンと馬の背コーナーで1台ずつ抜き、予選と同じポジションに戻して1周目を終了。

5周目の2コーナーでの先行車両のミスを逃さず、ヘアピンで逆転を試みた平木選手だったが、相手に被られてしまい接触。ただし、ポジションを落とさずに済んだのは、不幸中の幸いだった。その後、1台を10周目の最終コーナーでかわし、また違反スタートのペナルティで順位を下げた車両もあったことから、最後は18位でのフィニッシュとなった。

次回のレースは、5月26～27日に九州のオートポリスで開催される。平木選手にとっては、昨年86/BRZレースでこそ初めて走ったコースながら、FIA-F4では3年のレース経験もあるだけに、ここまで2戦の悔しさを一気に晴らしてくれるに違いない。



平木湧也選手のコメント



このレースウィークは、日に日に気温が高くなって行って、特に今日は予想していなかった温度域だったので、ちょっとバランス的にリヤがきつくなっていました。みんなもそうだったと思うのですが、トラクションが薄かったので、ヘアピンからの立ち上がりで登っていかなかったように思います。振り返ると、予選がうまくいかなかったのが悔しいですし、決勝にも大きく影響してしまいました。おかげで被せられて、行き場をなくしたというのもありましたが、接触もしてしまいましたし……。だいぶ見えてはいるんですが、本当にほんのちょっとのところは足りていません。もっともっとハコの走りを勉強していかななくてはいけないですね。

メカニックのコメント ～新井惇（牛久南店）～



この度、レースにメカニックとして参加するにあたり多くの皆様にご協力、ご尽力いただき本当に感謝しております。今回の菅生で2回目の参加となります。前回の鈴鹿では悪天候により決勝が中止となってしまい不完全燃焼でしたが、今回は決勝まで参加することが出来て満足しています。普段の業務とは違う仕事に戸惑うこともあります。得られる経験は大きいと感じます。レースの活動に興味がない、何をするかわからなくて不安に思う方もいるかと思いますが、そんな方にこそ積極的に参加していただいてレースを盛り上げて行けたらいいなと思います。

メカニックのコメント ～荒井智博（つくば東大通り店）～



昨年のオートポリスに続き2回目の参加をさせていただきました。参加するにあたり協力していただいた店舗スタッフ、関係者の皆様ありがとうございました。そしてドライバー、チームスタッフの皆様お疲れ様でした。1年のブランクや体制の変化等があり最初は戸惑う部分がありましたが、少しずつ感覚を取り戻し作業する事ができました。また、前回よりも広い目線で見ることができ、自分の課題を見つけられてとても充実したレースウィークを過ごす事ができました。今回学んだ事を活かし、足りない部分を学び、さらに実力を身に付け次回も参加出来ればと思います。今後とも IBARAKI TOYOPET RACING の応援をよろしく願いいたします。

チーム監督のコメント ～石川 一郎（FUN TO DRIVE 推進グループ）～



GR86/BRZ Race 第2戦 スポーツランド SUGO の結果は、予選 : 21位、決勝 : 18位
ご支援、ご声援いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。
今回、Rd2 SUGO に向けて#7CABANA チームと事前に合同テストを実施。レースウィークの練習走行ではポイントを狙えるタイムを刻んでいただけに、ワンアタックの予選でのミスが悔やまれますが、次戦に向けて期待を持てる走りを見せてくれました。
なお、今シーズンもファンづくりの一環で、毎レース店舗スタッフがレースメカニックとして入れ代わり参戦します。今回参加いただいた2名のメカニックは、昨年引き続き参戦してくれました。昨年の参加者の中からリピーターがいることを大変嬉しく思います。お力添えいただきました店舗スタッフの皆様大変感謝しております。
シリーズ第3戦は九州のオートポリスで、5月26～27日に開催されます。応援よろしく願いいたします

GR86/BRZ Race